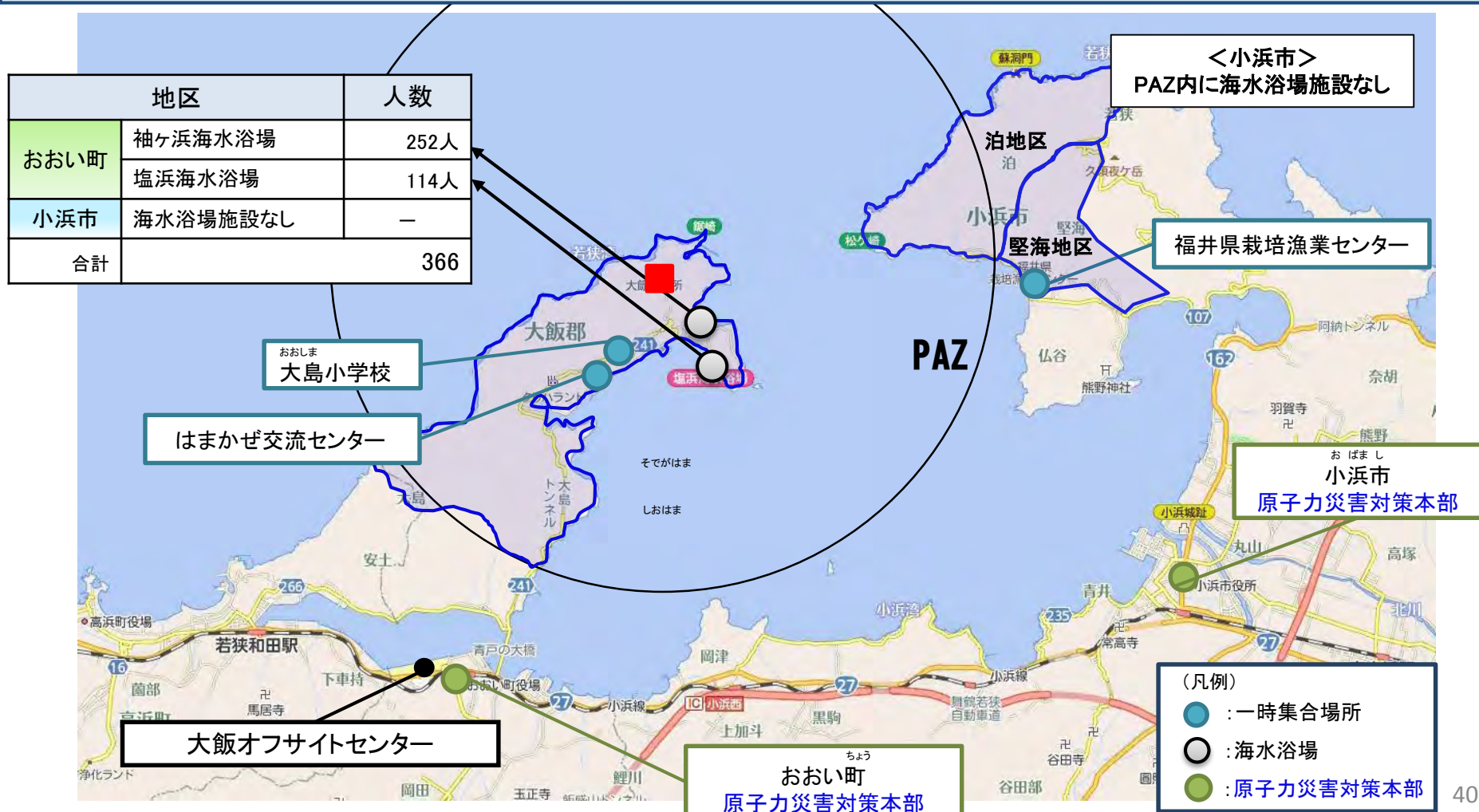


# PAZ内の海水浴場及び入場者の数

- おおい町ではPAZ内に海水浴場が2ヶ所あり、平成27年度シーズンの1日あたりの最大入込客数は約366人。
- おおい町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の9割以上が自家用車利用で、貸切バス及び公共交通機関の利用は1割に満たない。(平成27年度観光客入込調査 おおい町)



# おい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計**229人分**:バス**6台**。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

## ＜おい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難できない住民	57人	2台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車1台当り45人程度の乗車を想定【資料P37】
観光施設から避難する一時滞在者	135人 (1,343人×0.1)※3	3台	バス1台当り45人程度の乗車を想定1日あたりの観光客数1,343人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査おい町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P38】
海水浴場から避難する一時滞在者	37人 (366人×0.1)※3	1台	バス1台当り45人程度の乗車を想定1日あたりの海水浴客366人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査おい町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P39】
<b>合 計</b>	<b>229人</b>	<b>6台</b>	—

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値    ※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難  
 ※3 観光客、海水浴客の9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込 調査おい町』)ことを踏まえ、1割を想定対象人数に算入。

## ＜おい町における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		6台	
(B)確保車両台数		6台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	3台	保有車両台数 バス173台
	関西電力	3台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

# 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民**27人分**:バス**1台**。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

## <小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力>

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	27人	1台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車。 1台当り45人程度の乗車を想定。 【資料P37】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

## <小浜市における全面緊急事態での輸送能力の確保>

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		1台	
(B)確保車両台数		1台	
確保先	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請